

（平成 23 年 11 月 21 日現在）

選定年度	選定案件	進捗状況	
		① 評価に必要な情報の収集・整理中、② 評価に係る調査審議中、 ③ リスクプロファイルの作成や中間とりまとめ*を実施、④ 評価書案をとりまとめ、 ⑤ 評価書をとりまとめ、リスク管理機関に通知	
H15	日本における BSE 対策	③	中間とりまとめ【関係機関に通知】
H16	食中毒原因微生物	⑤	鶏肉を主とする畜産物中のカンピロバクター・ジェジュニ/コリ
		③	牛肉を主とする食肉中の腸管出血性大腸菌、鶏卵中のサルモネラ・エンテリティディス、カキを主とする二枚貝のノロウイルス 微生物・ウイルス専門調査会の審議終了【関係機関に通知】
		③	二枚貝中の A 型肝炎ウイルス、豚肉中の E 型肝炎ウイルス、生鮮魚介類中の腸炎ビブリオ、鶏肉中のサルモネラ属菌、Ready to Eat (RTE) 食品・魚介類中のリステリア・モノサイトゲネス微生物・ウイルス専門調査会の審議終了【食品安全委員会への報告に向けて調整中】
H17	我が国に輸入される牛肉等 (対象 15 か国)	⑤	8 か国 (オーストラリア、メキシコ、チリ、コスタリカ、パナマ、ニカラグア、ブラジル、ハンガリー)
		④	3 か国 (バヌアツ、アルゼンチン、ニュージーランド) プリオン専門調査会の審議終了【意見・情報の募集を終了】
		④	2 か国 (ホンジュラス・ノルウェー) プリオン専門調査会の審議終了【意見・情報の募集に向けて調整中】
		①	2 か国 (中国・韓国)
H18	選定せず	—	—
H19	食品中の鉛	③	H20.7.30～ 化学物質・汚染物質専門調査会に設置されたワーキンググループにおいて 10 回の審議を経て、中間とりまとめとすることを合意【現時点では TDI 設定は困難】
H20	オクラトキシン	②	H22.6.18～ かび毒・自然毒等専門調査会で調査審議中
	デオキシニバレノール	⑤	デオキシニバレノール、ニバレノール
	食品中のヒ素	②	H21.8.20～ 化学物質・汚染物質専門調査会汚染物質部会で調査審議中
H21	トランス脂肪酸	④	H22.4.12～ 新開発食品専門調査会の審議終了【意見・情報の募集を終了】
	アルミニウム	①	評価に必要なデータ収集・整理中
H22	加熱時に生じるアクリルアミド	①	評価に必要なデータ収集・整理中

(※) リスクプロファイルの作成はリスク分析の初期活動であり、一方、中間とりまとめは評価として行われているもの。

食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の進捗状況

別添

(平成23年11月1日現在)

【16年度～その1】

企画専門調査会	食品安全委員会		対 応
第7回会合(平成16年6月22日)により選定された候補	第54回会合(H16.7.15)における審議状況	第74回会合(H16.12.16)における審議結果	
1 食中毒の原因物質に関する食品健康影響評価(リステリア)	更なる調査を行い委員会で改めて検討することを決定	リステリアだけにこだわらず、食中毒原因微生物の評価指針を策定し、評価すべき微生物の優先順位を決めた上で個別の微生物について評価を行うことを決定	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会(H19.6.22,25)を踏まえ、第199回会合(H19.7.19)で「自らの判断で行うリスク評価」として、「鶏肉を主とする畜産物中のカンピロバクター・ジェジュニ/コリ」から評価を進めることを決定 ・第206回会合(H19.9.13)において評価指針(案)に付属文書を補完し、「食品により媒介される微生物に関する食品健康影響評価指針(暫定版)」としてとりまとめ、公表 ・微生物・ウイルス専門調査会にWGを設置(H19.10.19)し、調査審議を開始 ・WGを8回開催した後、第6回微生物・ウイルス専門調査会(H21.4.27)において評価書(案)を取りまとめ意見・情報の募集及び意見交換会(H21.6.3,5)を実施した後、第291回会合(H21.6.25)において評価書を最終決定し、厚生労働省及び農林水産省に通知 ・現在、微生物・ウイルス専門調査会において、残りの優先評価3案件(牛肉を主とする食肉中の腸管出血性大腸菌、鶏卵中のサルモネラ・エンテリティディス、カキを主とする二枚貝のノロウイルス)について、定量的評価に向けて、必要なデータ収集等を行うことを決定 ・その他の食有毒原因微生物について、微生物・ウイルス専門調査会において、今後の進め方の検討を行い、リスクプロファイル5案件(二枚貝中のA型肝炎ウイルス、豚肉中のE型肝炎ウイルス、生鮮魚介類中の腸炎ビブリオ、鶏肉中のサルモネラ属菌、RTE食品・魚介類中のリステリア・モノサイトゲネス)の更新の審議を終えたところ。

			<ul style="list-style-type: none"> ・季刊誌4号において、「委員会が自らの判断により行うリスク評価 -食中毒原因微生物-」を掲載(H17.3発行) ・季刊誌10号において、「食中毒に対する食品安全委員会の取組」を掲載(H18.10発行) ・季刊誌14号において、「食中毒の原因となる微生物のリスク評価の開始」を掲載(H19.10発行) ・季刊誌20号において、「食中毒原因微生物カンピロバクターのリスク評価」を掲載(H21.10発行) ・季刊誌23号において、「牛肉を主とする食肉中の腸管出血性大腸菌のリスクプロファイル」を掲載(H22.7発行)
2 Q熱の原因菌コクシエラ菌に関する食品健康影響評価	ファクトシートを作成することを決定	ファクトシートの公表を決定し、翌日ホームページに掲載	<ul style="list-style-type: none"> ・ファクトシートを作成(第74回会合(H16.12.16)において公表が決定される) ・ファクトシートを更新(H22.3.18)
3 トランス脂肪酸を含む油脂の多量摂取に関する食品健康影響評価	ファクトシートを作成することを決定	ファクトシートの公表を決定し、翌日ホームページに掲載	<ul style="list-style-type: none"> ・ファクトシートを作成(第74回会合(H16.12.16)において公表が決定される) ・ファクトシートを更新(H22.12.16) ・評価書案の委員会への報告(H23.10.20) ・意見交換会の開催(H23.11.1) ・季刊誌12号において、「トランス脂肪酸に関する現在の知見と今後の取組」を掲載(H19.3発行) ・季刊誌13号において、「食品中のトランス脂肪酸の分析調査 -調査を受けてのファクトシートを更新-」を掲載(H19.7発行) ・季刊誌25号において、「トランス脂肪酸のファクトシート更新」を掲載(H23.1発行)
4 成長促進剤として使用される女性ホルモンを投与した食肉、牛乳等に関する食品健康影響評価(プロゲステロン、安息香酸エストラジオール)	更なる調査を行い委員会で改めて検討することを決定	現時点で評価案件とはせず、今後の自ら行う食品健康影響評価の案件候補の点検や管理機関との協議を踏まえ、改めて評価の可否を検討することを決定	<p>情報収集等を継続 (※1:企画専門調査会第11回及び第12回会合において再度、自ら評価案件候補として選定される)</p>

<p>5 食品への放射線照射に関する食品健康影響評価</p>	<p>更なる調査を行い委員会で改めて検討することを決定</p>	<p>現時点で評価案件とはせず、今後の自ら行う食品健康影響評価の案件候補の点検や管理機関との協議を踏まえ、改めて評価の要否を検討することを決定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集等を継続 (※2:企画専門調査会第16回及び第17回会合において再度、自ら評価案件候補として選定される) ・企画専門調査会第37回会合(H23.2.8)において、ファクトシートを作成することを決定 ・平成23年度食品安全確保総合調査「食品中に含まれる物質等の安全性評価等科学的知見の収集に関する調査」においてファクトシート作成に向けて必要なデータの収集・整理を行なっているところ
<p>6 アルコール飲料の妊婦(胎児)への食品健康影響評価</p>	<p>ファクトシートを作成することを決定</p>	<p>ファクトシートの公表を決定し、翌日ホームページに掲載</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ファクトシートを作成 (第74回会合(H16.12.16)において公表が決定される) ・ファクトシートを更新(H22.12.16)

食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の進捗状況

【16年度～その2】

平成23年11月1日現在)

企画専門調査会		食品安全委員会		対 応
第8回会合(H17.1.14)及び9回会合(H17.2.18)により選定された候補	第85回会合(H17.3.10)における審議状況	第89回会合(H17.4.7)における審議状況		
1 加工食品中に生成されるフランに関する食品健康影響評価	情報収集、調査研究を実施し、それらの結果を踏まえ評価の必要性を検討することを決定	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 平成17年度食品安全確保総合調査において健康影響評価に関する知見・学識論文などの収集を実施 (※3:企画専門調査会第16回及び第17回会合において再度、自ら評価案件候補として選定される) ・ファクトシートを作成 (第356回会合(H22.11.18)において公表が決定される) ・季刊誌25号において、「フランのファクトシートを公表」を掲載(H23.1発行)
2 食品中のクロロプロパノール類に関する食品健康影響評価	情報収集、調査研究を実施し、それらの結果を踏まえ評価の必要性を検討することを決定	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 平成17年度食品安全確保総合調査において健康影響評価に関する知見・学識論文などの収集を実施 (※4:企画専門調査会第16回及び第17回会合において再度、自ら評価案件候補として選定される) ・ファクトシートを作成 (第325回会合(H22.3.25)において公表が決定される) ・季刊誌23号において、「クロロプロパノールのファクトシートを公表」を掲載(H22.7発行)
3 ビタミン類の過剰摂取に関する食品健康影響評価	厚生労働省から説明を求めることを決定	厚生労働省から管理措置等について説明を聴取した結果、緊急に評価する必要性は低いと判断される	—	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集等を継続 (※5:企画専門調査会第11回及び第12回会合において再度、自ら評価の案件候補として選定される) ・ビタミンAの過剰摂取に係るファクトシートを作成 (第325回会合(H22.3.25)において公表が決定される) ・ファクトシートを更新(H21.6.1)
4 塩化ビニル等を含む容器包装(ラップ類)に関する食品健康影響評価	厚生労働省から説明を求めることを決定	厚生労働省から管理措置等について説明を聴取した結果、緊急に評価する必要性は低いと判断される	—	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集等を継続 ・企画専門調査会第37回会合(H23.6.3)において、ファクトシートを作成することを決定 ・平成23年度食品安全確保総合調査「食品中に含まれる物質等の安全性評価等科学的知見の収集に関する調査」においてファクトシート作成に向けて必要なデータの収集・整理を行なっているところ

食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の進捗状況

【17年度】

(平成23年11月1日現在)

企画専門調査会		食品安全委員会		対 応
第11回会合(H17.9.1)及び第12回会合(H17.11.7)により選定された候補	第147回会合(H18.6.15)における審議結果	第190回会合(H19.5.17)における審議結果		
1 メキシコ、チリ、中国産牛肉等に係る食品健康影響評価	<p>プリオン専門調査会の意見を聞いた上で、改めて委員会で取扱いについて検討することを合意</p>	<p>意見交換会の結果を踏まえ、自ら評価の実施を決定 (参考) 第149回会合(H18.6.29) 自ら評価の準備段階としてプリオン専門調査会において、米国及びカナダ以外で我が国が牛肉等を輸入している国について、情報収集により現状を把握するとともに、輸入牛肉のリスク評価の進め方や評価に必要な項目について審議することを決定 第183回会合(H19.3.22) 「我が国に輸入される牛肉等に係る食品健康影響評価を実施することは妥当である」とのプリオン専門調査会の見解を報告 自ら評価の実施の要否の決定の前に意見交換会の実施を決定</p>	<p>・プリオン専門調査会において資料収集のための質問書を作成し、我が国に過去4年間に輸入実績のある14カ国を対象に在京大使館への説明会の後、調査訓令を发出(H19.7) 各国からの回答については翻訳後、プリオン専門調査会に提出するとともに、評価を実施 ・第288回会合(H21.6.4)において韓国を評価対象に加えることとし、今後、プリオン専門調査会の見解に従って評価を進めていくことを決定 ・第321回会合(H22.2.25)において、8カ国(オーストラリア、メキシコ、チリ、コスタリカ、パナマ、ニカラグア、ブラジル、ハンガリー)に係る評価を終了し、評価結果を通知した。あわせて意見交換会を開催した。(H21.12.15、H21.12.18) ・第403回会合(H23.10.13)において、3カ国(バヌアツ・アルゼンチン・ニュージーランド)に係る評価書案についてパブリックコメントを開始 ・残り2か国(ホンジュラス・ノルウェー)についても、調査会における調査審議を経て、平成23年10月23日のプリオン専門調査会において、評価書案をとりまとめたところ ・回答が得られていない国(中国、韓国)については、引き続き回答が得られるように働きかけているところ ・季刊誌13号において、「米国、カナダ以外からの輸入牛肉のリスク評価」を掲載(H19.7発行) ・季刊誌22号において、「BSEが発生していない国を対象とした輸入牛肉・牛内臓のリスク評価」を掲載(H22.3発行)</p>	

<p>2 動物用医薬品に関する食品健康影響評価(成長ホルモン剤、成長促進剤) (※1)</p>	<p>ファクトシートを作成することを決定</p>	<p>—</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ファクトシートを作成 (第202回会合(H19.8.9)において公表が決定される) ・季刊誌15号において、「肥育ホルモン剤のファクトシートを公表」を掲載(H19.12発行)
<p>3 ビタミンAの過剰摂取に関わるリスクアセスメント (※5)</p>	<p>ファクトシートを作成することを決定</p>	<p>—</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ファクトシートを作成 (第159回会合(H18.9.14)において公表が決定される) ・ファクトシートを更新(H21.6.1) ・季刊誌11号において、「ビタミンAの過剰摂取による影響」を掲載(H18.12発行)
<p>4 臭素酸カリウムのリスクアセスメント</p>	<p>ファクトシートを作成することを決定</p>	<p>—</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ファクトシートを作成 (第202回会合(H19.8.9)において公表が決定される) ・季刊誌15号において、「臭素酸カリウムのファクトシートを公表」を掲載(H19.12発行)

食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の進捗状況

【18年度】

(平成23年11月1日現在)

企画専門調査会	食品安全委員会	対応
第16回会合(H18.9.27)及び17回会合(H18.12.4)により選定された候補	第182回会合(H19.3.15)における審議結果	
1 食品への放射線照射に関する食品健康影響評価 (※2)	自ら評価は行わないが、引き続き、情報収集に努めることを決定。その際できれば海外からの専門家を招いて情報収集を行うとともに、その知見を国民に紹介することを検討することとなった	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集等を継続実施 ・平成19年9月3日に海外からの専門家を招聘し意見交換会を実施 (※8:企画専門調査会第35回及び第36回会合において再度、自ら評価案件候補として選定される) ・企画専門調査会第37回会合(H23.2.8)において、ファクトシートを作成することを決定 ・平成23年度食品安全確保総合調査「食品に含まれる物質等の安全性評価等科学的知見の収集に関する調査」においてファクトシート作成に向けて必要なデータの収集・整理を行なっているところ
2 ヒジキ中の無機ヒ素に関する食品健康影響評価	ファクトシートを作成することを決定	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年度食品安全確保総合調査において健康影響評価に関する知見・学識論文などの収集を実施 (※7:企画専門調査会第25回及び第27回会合において再度、自ら評価案件候補として選定される) ・食品中のヒ素に関する食品健康影響評価の実施を決定(第278回会合(H21.3.19)) ・汚染物質部会において調査事業報告会(食品に含まれるヒ素の食品健康影響評価に関する調査)を開催し、調査審議を開始(H21.8.20) ・これまでに部会を4回開催
3 非定形スクレイパーに感染した小型反芻動物(めん羊と山羊)関連製品に関する食品健康影響評価	情報収集を継続することを決定	情報収集を継続実施

<p>4 クロロプロパノール類に関する食品健康影響評価 (※4)</p>	<p>ファクトシートを作成することを決定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年度食品安全確保総合調査において健康影響評価に関する知見・学識論文などの収集を実施 ・ファクトシートを作成 (第325回会合(H22.3.25)において公表が決定される) ・季刊誌23号において、「クロロプロパノールのファクトシートを公表」を掲載(H22.7発行)
<p>5 フランに関する食品健康影響評価 (※3)</p>	<p>ファクトシートを作成することを決定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年度食品安全確保総合調査において健康影響評価に関する知見・学識論文などの収集を実施 ・ファクトシートを作成 (第356回会合(H22.11.18)において公表が決定される) ・季刊誌25号において、「フランのファクトシートを公表」を掲載(H23.1発行)

食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の進捗状況

【19年度】

(平成23年11月1日現在)

企画専門調査会	食品安全委員会		対応
第21回会合(H19.9.7)及び22回会合(H19.11.27)により選定された候補	第222回会合(H20.1.17)における審議結果	第234回会合(H20.4.17)における審議結果	
1 食品(器具・容器包装を含む)中の鉛に関する食品健康影響評価	自ら評価案件とする前に意見交換会を行い、実施について意見を伺うことを決定	意見交換会(H20.3.19,26)の結果を踏まえ、自ら評価の実施を決定	<ul style="list-style-type: none"> ・化学物質・汚染物質専門調査会幹事会(H20.5.13)において鉛WGを設置することを決定し、調査審議を開始(H20.7.30) ・これまでに10回のWGにおける調査審議を経て、中間とりまとめ(案)を作成(H22.3.9)
2 こんにゃく入りゼリー	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省においては食物による窒息事故に関する調査を予定していることから、その状況も含め国内外の情報収集に努めることを決定 ・こんにゃく入りゼリー等食べ物による窒息事故の防止について食品安全委員会のホームページでの情報提供を充実させるとともに、地方公共団体に対し、そのホームページの内容等の周知を図る。併せて、季刊誌及びメールマガジンによる情報提供等を行うことを決定 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・「食べ物による窒息事故を防ぐために」と題した注意喚起を促す文書をホームページ上に掲載(H20.5.2、H21.2.27更新)するとともに、メールマガジン(94,95号)で情報提供 ・また、当該文書について、厚生労働省の食品による窒息事故の実態調査結果も併せて、厚生労働省から都道府県に対し、市町村、児童福祉施設、介護保健施設及び関係団体等への周知依頼を実施 ・内閣府国民生活局(現 消費者庁)から「こんにゃく入りゼリーを含む窒息事故の多い食品の安全性に係る食品健康影響評価」の要請を受けた(H21.4.27) ・食品安全委員会において「食品による窒息事故に関するWG」を設置し、調査審議を開始(H21.6.10) ・7回のWGにおける調査審議を経て、評価結果をとりまとめ、消費者庁に通知した(H22.6.10) ・季刊誌24号において、「食品による窒息事故についてのリスク評価」を掲載(H22.10発行)

3 体細胞クローン牛	Q&Aを作成し、ホームページで公開することを決定	—	<ul style="list-style-type: none"> ・「体細胞クローン動物に関する状況について」と題し、ホームページ上に国内外の関係機関からの情報を提供するとともにQ&Aも掲載(H20.4.2、H20.4.9更新) ・H20.4.1に厚生労働省より「体細胞クローン技術を用いて産出された牛及び豚並びにそれらの後代に由来する食品」に係る食品健康影響評価について評価要請 ・新開発専門調査会にWGを設置し、調査審議を開始(H20.5.2) ・専門調査会(3回)、WG(5回)、WG小グループ(2回)における審議、意見・情報の募集及び意見交換会(H21.3.24,27)を実施した後、第291回会合(H21.6.25)において評価結果を最終決定し、厚生労働省に通知するとともに関係機関(農林水産省、内閣府)に情報提供 ・季刊誌19号において、「体細胞クローン牛・豚由来食品のリスク評価」を掲載(H21.7発行)
4 多肥栽培による葉物野菜中の硝酸塩	Q&Aを作成し、ホームページで公開することを決定	—	ホームページ上に公表(H20.5.12、H20.7.4更新)
5 食器などのプラスチック製品に含まれるビスフェノールA	Q&Aを作成し、ホームページで公開することを決定	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ上に公表(H20.5.12、H20.7.10更新) ・H20.7.8に厚生労働省より評価要請 ・器具・容器包装専門調査会に生殖発生毒性等に関するWGを設置し、調査審議を開始(H20.9.25) ・これまでにWGにおける9回の調査審議を経て、中間取りまとめが了承された(H22.7.7)
6 ポリスチレン容器から溶出するスチレントリマー	Q&Aを作成し、ホームページで公開することを決定	—	ホームページ上に公表(H20.5.12)
7 複数添加物の相乗毒性	Q&Aを作成し、ホームページで公開することを決定	—	ホームページ上に公表(H20.5.12)
8 食品添加物パラオキシ安息香酸エステル類	Q&Aを作成し、ホームページで公開することを決定	—	ホームページ上に公表(H20.5.12)

9 ヘテロサイクリックアミン	情報収集を継続することを決定	—	平成21年度食品安全確保総合調査において安全性評価に関する科学的知見の収集及び国内の食品への汚染実態把握を実施
10 有機ヒ素化合物 (ジメチルアルシニン酸)	情報収集した上で無機ヒ素のファクトシート(※7)に追加することを決定	—	<ul style="list-style-type: none"> ・食品中のヒ素に関する食品健康影響評価の実施を決定(第278回会合(H21.3.19)) ・汚染物質部会において調査事業報告会(食品中に含まれるヒ素の食品健康影響評価に関する調査)を開催し、調査審議を開始(H21.8.20) ・これまでに部会を4回開催 ・平成23年度から食品健康影響評価技術研究において、研究班が研究中

食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の進捗状況

【20年度】

(平成23年11月1日現在)

企画専門調査会		食品安全委員会		対 応
第25回(H20.8.28)及び第27回会合(H20.11.27)により選定された候補	第267回会合(H20.12.18)における審議結果	第278回会合(H21.3.19)における審議結果		
1 オクラトキシンに関する食品健康影響評価	評価の候補とすることについて了承し、最終決定前に意見・情報の募集を実施	寄せられた意見・情報を踏まえ、対象を「オクラトキシンA」とし、自ら評価の実施を決定		・第278回会合(H21.3.19)において、「オクラトキシンA」及び「デオキシニバレノール」については、かび毒・自然毒等専門調査会の意見等を踏まえて、「デオキシニバレノール及びニバレノール」から調査審議を開始することとされた ・これまでに、食品安全確保総合調査において、評価に必要なデータの収集・整理を行い、調査会を2回開催
2 ゼアラレノンに関する食品健康影響評価	情報収集を行うことを決定	—		情報収集を継続実施
3 デオキシニバレノールに関する食品健康影響評価	ニバレノールと併せて評価の候補とすることについて了承し、最終決定前に意見・情報の募集を実施	寄せられた意見・情報を踏まえ、自ら評価の実施を決定		・かび毒・自然毒等専門調査会において、調査審議を開始(H21.5.1) ・第356回会合(H22.11.18)において、評価を終了し、評価結果を通知した。 ・季刊誌26号において、「かび毒デオキシニバレノール、ニバレノールのリスク評価」を掲載(H23.3発行)
4 フモニシンに関する食品健康影響評価	情報収集を行うことを決定	—		情報収集を継続実施
5 3-MCPD脂肪酸エステルに関する食品健康影響評価	情報提供を行う(ファクトシート「クロロプロパノール類」に追記する)ことを決定			ファクトシートを作成(第325回会合(H22.3.25)において公表が決定される)
6 カルバミン酸エチルに関する食品健康影響評価	情報収集を行うことを決定	—		情報収集を継続実施
7 食品中のヒ素に関する食品健康影響評価(※7)	評価の候補とすることについて了承し、最終決定前に意見・情報の募集を実施	寄せられた意見・情報を踏まえ、自ら評価の実施を決定		・汚染物質部会において調査事業報告会(食品中に含まれるヒ素の食品健康影響評価に関する調査)を開催し、調査審議を開始(H21.8.20) ・これまでに部会を4回開催
8 ヒスタミンに関する食品健康影響評価	情報提供による啓発・注意喚起を行うことを決定	—		ホームページに「ヒスタミンによる食中毒について」を公表(H22.3.9)

食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の進捗状況

【21年度】

(平成23年11月1日現在)

企画専門調査会		食品安全委員会		対応
第31回会合(H21.9.29)及び第27回会合(H21.12.7)により選定された候補	第319回会合(H22.2.4)における審議結果	第324回会合(H22.3.18)における審議結果		
1 カフェイン	事務局による情報収集・情報提供を行うことを決定	—		<ul style="list-style-type: none"> ・ファクトシートを作成(第376回会合(H22.3.31)において公表が決定される) ・季刊誌27号において、「食品中のカフェインについてファクトシートを公表」を掲載(H23.10発行)
2 アルミニウム	まず情報収集から始めるものとして自ら評価の案件候補とすることを決定	必要な情報収集を行ったうえで、自ら評価の対象とすることを決定		平成23年度から食品健康影響評価技術研究において、研究班が研究中
3 トランス脂肪酸	自ら評価案件候補とすることの理解の下、意見・情報の募集手続に入ることが了承され、その結果を踏まえて、最終的に自ら評価案件とすることを決定	新開発食品専門調査会において調査審議を行うったうえで、自ら評価の対象とすることを決定		<ul style="list-style-type: none"> ・食品安全確保総合調査において評価に必要なデータの収集・整理を行ない、これまでに7回の専門調査会における調査審議を経て、評価書案をとりまとめた(H23.8.23) ・食品安全委員会第404回会合(H23.10.20)に報告し、国民からの意見・情報の募集を行っているところ ・意見交換会の開催(H23.11.1) ・季刊誌12号において、「トランス脂肪酸に関する現在の知見と今後の取組」を掲載(H19.3発行) ・季刊誌13号において、「食品中のトランス脂肪酸の分析調査 -調査を受けてのファクトシートを更新-」を掲載(H19.7発行) ・季刊誌25号において、「トランス脂肪酸のファクトシート更新」を掲載(H23.1発行)

食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の進捗状況

【22年度】

(平成23年11月1日現在)

企画専門調査会		食品安全委員会		対応
第35回会合(H22.9.28)、第36回会合(H22.12.16)及び第37回会合(H23.2.8)により選定された候補		第367回会合(H23.2.17)における審議結果	第376回会合(H23.3.31)における審議結果	
1・2	調理器具から溶出する物質のうちフッ素樹脂及びパーフルオロ化合物	ファクトシートを作成して情報提供を行う。	—	平成23年度食品安全確保総合調査「食品中に含まれる物質等の安全性評価等科学的知見の収集に関する調査」においてファクトシート作成に向けて必要なデータの収集・整理を行なっているところ
3	本来的に食品に含まれる物質としての硝酸塩	ファクトシートを作成して情報提供を行う。	—	平成23年度食品安全確保総合調査「食品中に含まれる物質等の安全性評価等科学的知見の収集に関する調査」においてファクトシート作成に向けて必要なデータの収集・整理を行なっているところ
4	有機スズ化合物	当面、ファクトシートを作成して情報提供を行う。	—	平成22年度食品安全確保総合調査「輸入食品等の摂取等による健康影響に係る緊急時に対応するために実施する各種ハザード(微生物・ウイルスを除く。)に関する文献調査」の成果を活用してファクトシート作成中
5	くんせい中のベンゾピレンなど多環芳香族炭化水素(特にベンゾピレン)	ファクトシートを作成して情報提供を行う。	—	平成23年度食品安全確保総合調査「食品中に含まれる物質等の安全性評価等科学的知見の収集に関する調査」においてファクトシート作成に向けて必要なデータの収集・整理を行なっているところ
6	加熱時に生じるアクリルアミド	「自ら評価」の案件候補として、パブリックコメントを実施することを決定。	「自ら評価」の案件として決定。	平成24年度から食品健康影響評価技術研究で公募方式により主任研究者を決定し、当該主任研究者を中心とする研究班において研究を推進する予定
7	放射性照射食品(※8)	ファクトシートを作成して情報提供を行う。	—	平成23年度食品安全確保総合調査「食品中に含まれる物質等の安全性評価等科学的知見の収集に関する調査」においてファクトシート作成に向けて必要なデータの収集・整理を行なっているところ